

山地 憲治 (やまじ けんじ)略歴

生年月：1950(昭和25)年 2月

出身地：香川県

現職：(公財)地球環境産業技術研究機構 (RITE) 理事長

学歴： 1972年 4月 東京大学 工学部 原子力工学科卒業
1977年 3月 東京大学 大学院 工学系研究科 博士課程修了、工学博士

職歴：

1977年 4月 (財)電力中央研究所に入所 (経済研究所技術経済研究部)
1987年 7月 (財)電力中央研究所 経済研究所 経済部 エネルギー研究室長
1993年 6月 (財)電力中央研究所 経済社会研究所 研究主幹
1994年 8月 東京大学教授 (大学院工学系研究科電気工学専攻)
2010年 4月 (財)地球環境産業技術研究機構 (RITE) 理事・研究所長
2019年 6月 (公財)地球環境産業技術研究機構 (RITE) 副理事長・研究所長
2021年 6月 (公財)地球環境産業技術研究機構 (RITE) 理事長・研究所長
2022年 6月 (公財)地球環境産業技術研究機構(RITE)理事長 (現在に至る)

この間：

1981年 7月～1982年 12月 米国電力研究所(EPRI) 客員研究員
1991年 4月～1993年 3月 東京大学工学部地球環境工学講座(寄付講座)客員助教授
1999年 6月～2011年 2月 国際応用システム分析研究所(IIASA) 日本代表理事(現在は Honorary Scholar)
2005年 10月～2014年 9月 日本学術会議会員；2014年 10月から連携会員
2009年 10月～2017年 3月 (独)科学技術振興機構・研究主幹
2010年 6月～ 東京大学名誉教授
2011年 6月～2013年 6月 (一社)エネルギー・資源学会会長(現在は名誉会員)
2013年 4月～2015年 3月 立命館大学客員教授
2015年 2月～2017年 2月 (一社)日本エネルギー学会会長 (現在は参与)
2016年 4月～2021年 6月 二酸化炭素地中貯留技術研究組合・理事長

研究分野： エネルギーシステム工学

主な審議会委員：総合資源エネルギー調査会委員、産業構造審議会委員、科学技術学術審議会・中央環境審議会・原子力委員会等の部会などの委員を歴任。

所属学会：エネルギー・資源学会(名誉会員、元会長)、日本エネルギー学会(参与、元会長)、International Association for Energy Economics、日本原子力学会、電気学会

著書：「エネルギー新時代の夜明け」(エネルギーフォーラム社)、「フクシマのあとさき」(エネルギーフォーラム社)、「原子力の過去・現在・未来」(コロナ社)、「システム思考のすすめ」(日本電気協会新聞部)、「水素エネルギー社会」(エネルギー・資源学会)、「エネルギー・環境・経済システム論」(岩波書店)、「エネルギー学の視点」(日本電気協会新聞部)、「バイオエネルギー」(ミオシン出版)、「どうする日本の原子力」(日刊工業新聞社)、「システム数

理工学」(数理工学社)、IPCC 第3次および第4次報告書(いずれもWG3 主執筆者)等。

受賞等：

エネルギーフォーラム優秀賞 (1991年) : 「原子力は地球環境を救えるか」

エネルギーフォーラム賞 (1996年) : 「グローバルエネルギー戦略」

「原子力eye誌」1998年 年間読者賞 : 連載「21世紀の原子力」

エネルギーフォーラム賞 (1999年) : 「どうする日本の原子力」

日本エネルギー学会 学会賞 (学術部門・2006年度) : 「数理モデルによるエネルギー環境政策に関する研究」

エネルギー・資源学会 第4回論文賞 (2008年) : 「中四国の木質バイオマス残さの収集・発電利用のシステム分析」

エネルギーフォーラム優秀賞 (2010年) : 「原子力の過去・現在・未来 - 原子力の復権はあるか -」

エネルギー・資源学会 第7回論文賞 (2011年) : 「車種別利用パターンを考慮したプラグインハイブリッド車と電気自動車の導入評価」

日本機械学会 動力エネルギーシステム部門 社会業績賞 (2016年)

日本エネルギー学会功績賞 (2019年)

エネルギーフォーラム特別賞 (2021年) : 「エネルギー新時代の夜明け」

日本エネルギー学会論文賞 (2022年) : 「Concept of Carbon-related Energy to Connect Energy Consumption with CO₂ Emissions」

[業績リスト \(PDF\)](#) ※クリックするとご覧いただけます。